京丹後市が目指す『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善による確かな学力の育成について

どんな資質・能力を育成するのか

どのような学びの実現によって

何を学ばせ

どの場面で

確かな学力の育成

学びを人生や社会に活かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」の実現

子どもの姿
- ◇自分と結び付ける
- ◇興味・関心を高める
- ◇見通しを持つ
- ◇粘り強く取り組む
- ◇振り返って次につなげる

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」の実現

子どもの姿
- ◇知識・技能を習得する
- ◇知識・技能を活用する
- ◇思いや考えを結びつける
- ◇思考して問い続ける
- ◇知識・技能を概念化する
- ◇自分の考えを形成する

対話的な学び

子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」の実現

子どもの姿
- ◇互いの考えを比べる
- ◇協働して問題を解決する
- ◇ともに考えを創り上げる
- ◇多様な情報を収集する
- ◇多様な手段で説明する
- ◇思考を表現に置き換える
- ◇先哲の考え方を手掛かりとする

◎学習指導要領で明確化された各教科等で育む資質・能力について構造化された目標や内容を

① 自校での日々の実践と研究推進による授業改善
② 保幼小中一貫教育を活用した学園での一貫性のある授業改善
③ 市の研究組織（市小研・市中研等）での連携した授業改善